



すずかしりつ み だしょうがっこう
鈴鹿市立箕田小学校

みだっ子

がっこうきょういくちゅうぎょう
＜学校教育目標＞

こころゆた 心豊かで、あか 明るく、じっこうりよく 実行力
のある子の育成

れいわ ねん がつ にち げつ
令和6年3月18日（月）NO. 25



ことし ねんかん み だしょうがっこう
今年1年間、箕田小学校のリーダーとして、先頭に立って下級生を導き、
ささ えてきてくれた6年生が明日、この箕田小学校を巣立ちます。

ちく べつ つうがくはん たてわ はん かつどう がっこうぎょうじなど じゅんぴ うんえい ねんせい ひと
地区別の通学班や縦割り班での活動、学校行事等の準備や運営、1年生の人
たちのお世話など、様々な場面で活躍をしてくれました。

縦割り班活動



6年生を送る会



6年生から引き継いだ
言葉です。



6年 人権教育総合学習「自分らしく生きる」

先日、6年生は、『自分らしく生きる』をテーマに、人権学習を行いました。この授業では、校区の里山学院について正しく理解することをねらいとしました。

普段から、箕田小の子どもたちは、里山学院について話題にすることは少なく、里山学院のことを十分理解しているとはいえない状況にあります。

そこで、6年生では、まず里山学院の成り立ちや役割、学院の施設の様子、過ごし方などについて学習しました。さらに、里山学院の職員の方からは仕事の内容や、子どもたちへの思いや願いなどについてお話をいただきました。「学院で、一生懸命生活をしている子どもたちは、” かわいい ”。心が強いんだなと思っています」「しっかり成長して欲しい」「さびしいという思いは、みんなが思春期に感じているものと同じ」など、子どもたちに愛情をいっぱい注ぎながら、大切に育ていらっしゃる思いを伝えていただきました。また、学院で過ごす子どもからも、みんなにわかってほしいことを伝えました。

保護者や地域の皆様も、引き続き校区にあるこの鈴鹿里山学院のことを知っていたき、子どもたち一人ひとりを箕田の地域の子どものとして、大切に見守っていただきたいと思います。学校では一人ひとりが人権問題を自分の問題としてとらえ、自己の生き方を考えるきっかけとする学習をこれからも進めていきたいと考えております。

児童の感想より(一部抜粋)

- ・事実を知ることによって誤解を防ぐことができるので、正しい情報を持つことが大切だと思う。
- ・僕が最初思っていたのとちがうことがあった。だから、この勉強があったから里山学院のことをちゃんと知ることができた。
- ・里山学院の先生が言っていたことをしっかり覚えて、「かわいそう」と思うことをなくしたいと思いました。
- ・私は、あまりふれてはいけないのかなと勝手に気がついていました。先生たちの話を聞いて、私たちと同じなんだなと思いました。
- ・今まで少し気にしたり、気がつかったりしたこともあるけど、話を聞いて、これからもいつも通り楽しくいっしょに過ごすことがいいと思った。でも、今日話してくれたことは、頭に入れて過ごそうと思う。